

小池の年末イベント

「子ども餅つき大会・年越し餅つき大会」

小池地域では、小池自治会の他に法人格を持たない小池若者組合・小池稲荷神社を守る会のふたつの任意グループがあります。

今回は新年号にふさわしい小池若者組合が主催する餅つき大会について紹介します。

餅つき大会の開催は、子ども向けの「子ども餅つき大会」（毎年12月第一日曜日の午前中）と日時の良し悪しは別として初詣参拝の皆さんへつきたての温かい餅を配ることが目的である「年越し餅つき大会」（12月31日の午後10時ごろから午前0時）の2回に分け開催し、どちらも地域の皆さんから好評をいただいています。

取材によりますと当時は「年越し餅つき大会」だけで、正確な年数については記録がないのでわかりませんが、始まりは昭和45～46年（1970年～1971年）ごろからではないかと聞いています。歴史的には半世紀以上前のころからなので、年中行事としては良く受け継がれたと思います。

「子ども餅つき大会」の始まりは、同時期ではなく平成20年（2008年）ごろからであろうとのことですが、何故餅つきを二度に分けて開催するようになったかは理由があり、それは地域の皆さんの意見と実行委員の考えが一致したからでした。

当時の考え方では、初詣に参拝された方への「年越し餅つき大会」だけで良かったのでしょう。しかし、後に子どもたちが臼と杵に触れることも餅をつく体験もできないことに気づき、これを機に大勢の子どもたちに楽しんでもらう目的で「子ども餅つき大会」の開催が決定しました。

私も10年前からスタッフとして、打合せや事前準備、終われば後片付けなどの手伝いをしています。その一連の流れで分かったのですが、今日に至るまでのいきさつには計り知れないご苦労もあったのだらうと想像できました。

結びに、先輩方の脈々と受け継がれて来た熱意を尊重し、次は私たち大人が受け継ぎ日本の伝統文化や農耕文化を子孫へ伝え、この行事が永く続くことを期待したいものです。

（小池・小山 憲生）



子ども餅つき

（毎年12月第一日曜日の午前中）

年越し餅つき

（12月31日午後10時～午前0時）

温かいつきたて餅

（0時以降初詣参拝者へ
新年の挨拶として配る）

自治会「ルー」記事：池の台自治会 「うるせえな、要らねえって言ってんだよ！」

洗足池商店街の夏祭りの夜。毎年楽しみにしている焼きそばを息子に買いに行かせました。ところが、露天を仕切る花屋のご主人がお金を取ってくれなかったとの事。そのままという訳にもいかず代金を払いに行くと、笑顔で怒鳴られたのです。「黙って貰っておきな、怒られるから」、横にいた魚屋の奥さんにたしなめられました。自分の賄い分を譲ってくれたお礼に、酷暑の中汗だくになりながら鉄板の前に立つ方々に冷たい飲み物を差し入れし、息子と美味しい焼きそばを頂きました。「古きよき昭和」の思い出ではありません。令和7年の出来事です。

私は商店街の酒屋の息子として生まれ、このお二人はじめ、近所の方々には本当にお世話になっています。祖父母、両親が紡いでくれた縁。異なる世代が地層の様に積み重なり、自分が受けた恩を次の世代へとお返りする。人情に厚い居心地のよい関わりが地元に残ります。

『人間の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので図られる』（A・アインシュタイン）

（池の台・鈴木 清貴）



編集後記

今年度より編集委員となりました。

最近の自分を顧みると、本を読まなくなり、文章も書かなくなりました。そして、自分の語彙が減少していると実感します。編集会議に参加させて頂き、今は学生時代に戻ったが如く、一つ一つの記事をじっくり拝読させて頂いております。各自治会の取り組みは興味深く、雪谷石川台自治会のマイタイムで行われる25マスピングは、語彙復活の為に母と挑戦しようと思いました。しかし、編集後記を書くこの緊張感が私には一番の「フレイル予防」かもしれません。

（上池上・高島 七重）

【編集委員】

笹丸：小林 忠雄／雪谷石川台：長谷川 可織／南雪谷：河野 洋一郎／
東雪谷東中：小山 智恵子／東雪：永久保 美代子／池の台：宇佐美 恵美子／
小池：小山 憲生／上池上：高島 七重

ふれあい雪谷（創刊：平成2年12月20日）年4回発行

（1月：新年号／4月：さくら号／7月：あさがお号／10月：もみじ号／の1日発行）

【発行日】 令和8年 新年号 1月1日（通巻・第141号）発行

【発行】 地域力推進雪谷地区委員会【編集】ふれあい雪谷編集委員会

【連絡先】 大田区地域未来創造部雪谷特別出張所

〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地域情報紙

ふれあい 雪谷

令和8年1月 新年号 通巻第141号



池上七福神

新春を迎えた池上本門寺のお膝元、七福神巡りはいかがですか。七つの神々を祀る寺巡りは徒歩でも自転車でも楽しめる散歩コースです。色紙に御朱印を頂いて、今年の「福」を願いましょう。

小池・今成 修さんの作品


「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



■□■□■□

今年の干支

□■□■□■



干支のうまの字は“午”の字を書きますが、画数が少ないと映える表現が難しいので、あえて“馬”の字を書きました。字というのは上手い下手ではなく、その人が持っているものが、字に表現されれば良いと思っています。令和8年は丙午（ひのえうま）で躍動感にあふれた年になると良いと考えます。

(池の台・月居 利久)

マイタイムに来てみませんか

雪谷石川台自治会では、毎週水曜日14時30分から約1時間、マイタイムを開催しています。マイタイムでは「フレイル予防」を目的とした体操や脳トレなどを定員10名で行っています。

フレイル予防とは、加齢による心身の活力低下（フレイル）を防ぐために、「栄養」「運動」「社会参加」の3つの柱に、「口腔機能」を加えた4つの要素を意識した生活習慣改善のことです。これらをバランス良く行うことで、要介護状態になることを防ぎ、健康寿命を延ばすことを目指します。

マイタイムでは椅子に座ってできるストレッチをしたり、歌に合わせて手や腕を動かしたりしています。普段の生活に取り入れられる、無理のない運動なども行っています。また、脳トレでは25マスのピンゴゲーム、プラカップやお手玉を使ったゲーム、穴埋め熟語漢字ゲームなどを行い脳の活性化に努めています。

25マスのピンゴゲームでは、「野菜の名前」「魚の名前」「東急線の駅名」「花の名前」「人べんの付く漢字」「木へんの付く漢字」など毎回お題を変えています。私も参加しましたが、いざ思い出そうとするとなかなか出てこないですね。野菜や果物のお題の時は、頭の中でスーパーの中を歩いています（笑）。でも、このように思い出す、頭の中の引き出しから記憶を引っ張り出すことが大事だと思いました。様々なゲームをしている時、頭を使うこともありますが、何より楽しく笑いながらできることがとても良いことだと感じます。

マイタイムは自治会員を対象に事前予約をお願いしています。予約は自治会事務所までお電話ください。日によっては空きがありますので、お宅で時間を持て余していたら、是非遊びにいらしてください。短い時間ではありますが、楽しんでいただけたら幸いです。

(雪谷石川台・長谷川 可織)



命を守る地域の総合力とは

私は大田区東雪谷にある山王リハビリ・クリニックで総務部長として勤務しています。30年以上続く当法人は、リハビリテーション医学を基盤に、地域の方々が「より良く生きる」ための医療・介護サービスを提供し続けています。

皆さんもご承知のとおり、近年我が国で発生する自然災害は、予想を遥かに超える甚大な被害をもたらす傾向にあります。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、そして能登半島地震などの大地震に加え、異常な気象条件が重って起きる豪雨災害など、いずれも未曾有の災害が毎年のように起こっています。もしも私たちが暮らす地域で起こったらどうなるのか？備えは大丈夫か？こういったことを普段から考えておくことはとても大切です。

私が勤務する法人の職員も日頃から防災意識を持てるように、大田区が計画する各種防災訓練や、法人が独自に計画する災害対処訓練に参加しています。行政等の機関においては、防災計画や実践的な訓練をしっかりと整備して頂いていますが、やはり地域に暮らす私達がそれらに関心を持ち、普段から主体的に行動しなければ命を守るための真の「防災の体制」を築くことは困難です。私たちは、自助（普段から物心両面の準備をして自らを守る）、共助（地域の住民やコミュニティで助け合う）、公助（国や自治体などの救援活動）の精神を心に置いて備えを行い、非常時には円滑に支援を受けることができる体制でなければなりません。

私は以前、長年に渡って国の職務を果たして参りました。国内で発生した主要な大災害への対応や、我が国が行う国際貢献として、アジア太平洋地域にある国々の過疎地に対する人道支援にも従事してきました。その在任中のある年に、世界最大級とされる巨大台風がフィリピンを襲い、死者約6,000人、被災者約1,300万人という甚大な被害をもたらしました。当時は私も現地入りして各国の救援組織とともに活動しましたが、私たちが到着するまでの間、現地の被災者は少ない資材で傷病者を手当し、隣の村から人力で物資を運び、食糧を分け合ったりしながら救援を待っていました。これは正にコミュニティの力です。

私達も過去の災害から多くの事を学んでいると思います。地域の総合力こそが私たちの命綱であることを意識し、共に考え、共に行動できる街づくりが、今求められていると思います。

(東雪谷東中・山崎 俊宏)



東雪自治会文化部女性部主催の バス旅行に参加して

今回の日帰りバス旅行では、役員の一員として参加者の皆様とともに充実した一日を過ごすことができました。令和7年10月4日、土曜日朝7時30分に出発し、まず訪れたサントリー白州蒸溜所では、ウイスキーの製造工程を見学し、自然豊かな環境の中でこだわり抜かれた製品づくりに触れることができました。ウイスキー博物館の展示も興味深く、長期熟成されるとフルーティーな香りが増すことを初めて知りました。参加者の皆様が熱心に見入っておられた姿が印象的でした。昼食には山梨名物のほうとうを味わい、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

午後は山梨県立美術館にてジャン＝フランソワ・ミレーの有名な《落ち穂拾い》等、立体感のある作品70点を中心に鑑賞。芸術に触れることで心が豊かになるひとときでした。最後に立ち寄った里の駅では、地元特産品の野菜や果物を手に取りながら和やかな交流が生まれ、旅の締めくくりにふさわしい賑やかな時間となりました。

帰りのバスでは一日を振り返って楽しく懇談し18時30分頃には無事雪谷の地に到着できました。役員として、参加者の皆様が安全に快適に楽しんでいただけたなら心より嬉しく思います。今回のバス旅行では、文化部小林部長、女性部永久保部長その他役員の皆様のご尽力により大変有意義な一日となりました。ご参加頂いた皆様にも役員の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

(東雪・船橋 裕子)

雪谷地区の表彰者

[敬称略]

【秋の叙勲(瑞宝単光章)】

直井 精一郎

【秋の褒章(藍綬褒章)】

山下 雅夫

【秋季善行表彰】

永久保 孝治

【東京都功労者表彰】

森井 郁夫

【大田区自治会・町会長大会感謝状】

大場 英一

【東京都青少年育成協力者等感謝状】

高島 七重

【大田区青少年対策地区委員会永年功労者表彰】

井上 修吾 齊藤 祥子

【救急業務協力者感謝状】

椎名 滋